

使事検に関する状況報告

2022.7.26

三菱原子燃料株式会社

1. 現在の状況説明

7/22に実施し、条件が整っていないためHOLDとした2号検査について、確認の結果、転換設備の検査について検査前条件（1号検査の完了確認）が整っていなかった案件があることが判明。

(検査前条件)

- ・ 1号検査が完了し、検査責任者がサインしていること。
 - ――該当する1号検査（検査員検査）は完了していたが、記録への検査責任者サインが未完の物が複数あり。

(整っていなかった理由：詳細は不適合処置の中で明確にする予定)

- ・ 上記2号検査の検査前条件について明文化した規定がなく、検査責任者の確認済みという判断で運用されていたため。（検査責任者に一任されていた）
- ・ 対象とする設備に関して、1号検査の潰しこみ確認が不十分であった。

2. 今後の対応

- ・ 本件は、不適合処置を行い、検査前条件が成立していることを確認した上で必要なものについては、再検査を行う。また、水平展開を行い、同様の不適合がないことを確認する。

3. 今後の計画（性能検査等について）

- ・従前は7/27までに性能検査開始条件を確認したうえで、7/28に性能検査を実施する計画であったが、現時点では、上記の2号検査完了を確認できない見通し。
- ・よって、以下の段取りで性能検査準備を進めるものとする。
 - ① 転換設備の各検査について、検査記録パッケージの整備
 - ② 転換設備の各検査についての、様式-2/-3への入力処置
 - ③ その他の設備についての性能検査前条件の整備
- ・今後の工程は、上記の各ステップの進捗状況によるものとするが、現時点では、慎重を期すために、性能検査は8/2（火）～8/3（水）に延期とする方向で計画する。
- ・なお、転換以外のその他設備に関するパッケージ化などは完了済みであるため、7/25の週は、その他設備に関する使用前確認、および3号検査内容を確認いただくこととして、転換設備に関しては、先ずは記録の整備を優先し、完了部分から順次確認いただきたい。

生産再開に向けた全体スケジュール（性能検査までのデリー：7/12性能検査ベース＋

設工認変更届の遅れの影響＋設工認変更届遅れの影響＋性能検査延期）

